

株主様ご優待制度

毎年3月31日現在当社株式を1,000株以上ご所有の株主様に対し、下記の基準により、静岡県袋井市において例年8月に開催される「ふくろい遠州の花火」指定席入場券、または郷土の産品「クラウンマスクメロン」を贈呈いたしております。

ご所有株式数	選択区分	ご優待品
1,000株 ～1,999株	-	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 2個
2,000株 ～4,999株	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 2枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 3個
5,000株以上	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 4枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 4個

第43期 業績のご報告

(平成19年4月1日から
平成20年3月31日まで)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日 そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	毎年6月
配当金支払日	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店

※ 当社は、平成20年6月25日より、株主名簿管理人をみずほ信託銀行株式会社から住友信託銀行株式会社に變更いたしております。

公告方法 当社の下記ホームページに掲載します。
<http://www.enshu-truck.co.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

 遠州トラック株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第43期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の事業の概要と決算についてご報告申し上げます。

平成20年6月



代表取締役社長
澤田 邦彦

事業の概況

(1) 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、年間を通じては緩やかな成長を持続したものの、原材料価格の上昇、建築基準法の改正に伴う住宅投資の落ち込み、また年度後半より顕著となった株安、円高の進行など、先行きの不透明感が増す状況となっています。

一方、当物流業界においては、輸送量及び貨物保管量が頭打ちとなる中、燃料価格の高止まり、安全・環境対策コストの増加など、引き続き予断を許さない環境下にあります。

このような中、当社グループでは、輸送及び倉庫保管効率の改善に向けた大型倉庫の開設、既存荷主のシェア拡大、親会社である株式会社住友倉庫との協業による海外貨物の取扱拡大等、営業の強化に注力するとともに、エコドライブ、効率配送・効率保管等の推進により原価上昇の吸収に努めてまいりました。また、関連子会社4社も概ね安定した業績をあげることができ、特に当連結会計年度より連結子会社となった上海遠州物流有限公司の業績が寄与いたしました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は189億95百万円（前期比6.9%増）と最高額を更新することができました。一方、利益面においては、人件費や地代家賃等の営業原価が上昇する中、営業利益は11億87百万円（前期比2.3%増）、経常利益は11億27百万円（前期比0.5%減）、当期純利益は特別損失の減少により5億22百万円（前期比86.6%増）となりました。

営業部門別の状況は次のとおりであります。

輸送部門の営業収益は、自社車両配送の効率化及び中国子会社の寄与などにより125億37百万円（前期比5.5%増）となりました。

倉庫部門においては、掛川倉庫（静岡県掛川市）等、新規大型倉庫の寄与などにより62億2百万円（前期比9.5%増）の営業収益を計上いたしました。

不動産部門は分譲地販売に注力した結果、営業収益は2億54百万円（前期比17.5%増）となりました。

(2) 設備投資及び資金調達の状況

当連結会計年度の設備投資の総額は24億62百万円であります。その主要なものは生活協同組合連合会ユーコープ事業連合様が計画する食品セット工場用地（神奈川県厚木市）の取得や株式会社カインズ様向けの商品配送センター（静岡県藤枝市）の建設などであります。

これらの設備資金は、主に自己資金によるほか借入金をもって賄いました。

(3) 対処すべき課題

平成20年度の総貨物輸送量は9年連続の減少が予想され、貨物保管量も停滞する中、業界内での競争は激化の一途を辿っており、物流業界は依然厳しい状況下にあります。

このような中、当社グループとしては、運賃改定に注力する一方、物流戦略商品の創出、提案営業の強化、システム導入による省力化など、顧客サービスや業務レベルの一段の向上に取り組んでまいり所存です。

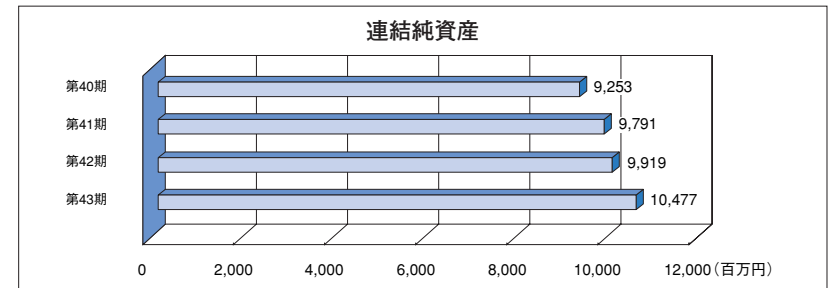
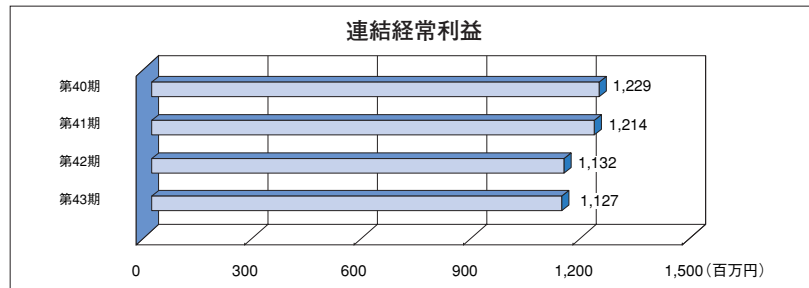
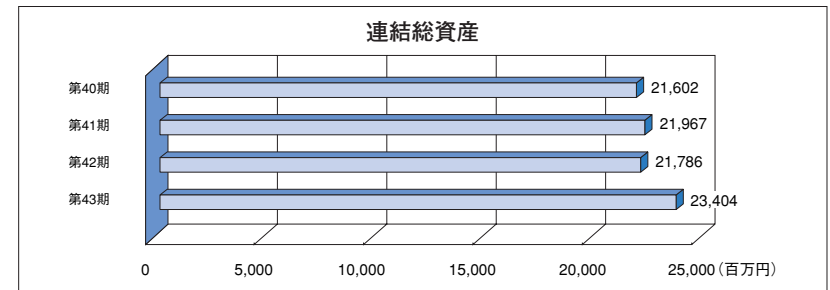
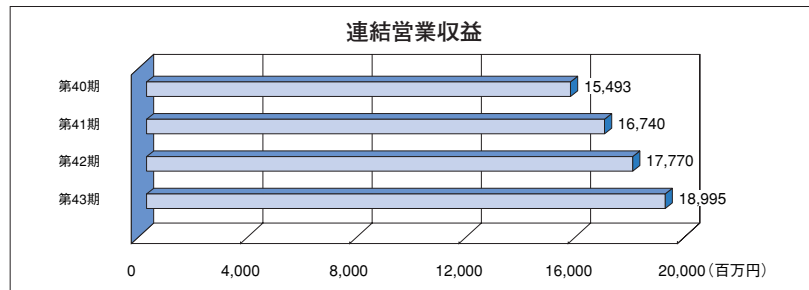
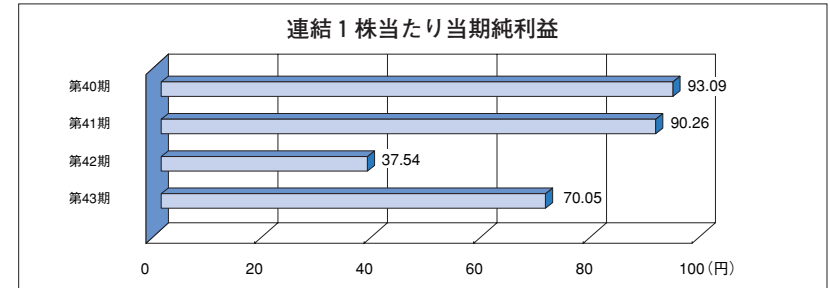
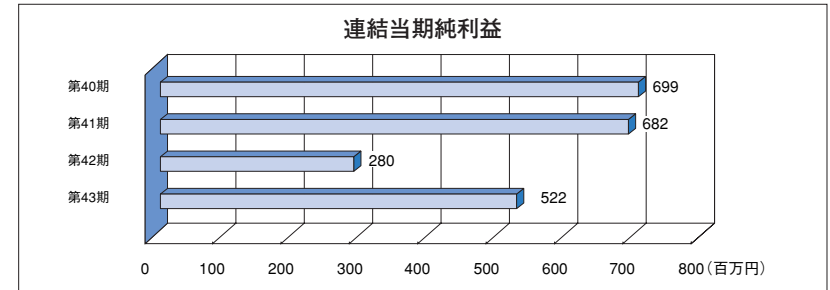
また、株式会社住友倉庫との間では、海外との一貫物流の拡大、倉庫ノウハウの共有化など、シナジー効果の具体化を図っており、今後もこのような協業化への動きを促進してまいります。

管理面におきましては、内部統制報告制度の開始にあたり、これまで社内諸制度の整備に努めてまいりましたが、リスクマネジメントやコンプライアンス体制を始めとする内部統制システムの整備、確立に一層の努力を払ってまいり所存です。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移（連結）

項目	期別	第40期	第41期	第42期	第43期
		平成16年4月～ 平成17年3月	平成17年4月～ 平成18年3月	平成18年4月～ 平成19年3月	平成19年4月～ 平成20年3月
営業収益(百万円)		15,493	16,740	17,770	18,995
経常利益(百万円)		1,229	1,214	1,132	1,127
当期純利益(百万円)		699	682	280	522
1株当たり当期純利益(円)		93.09	90.26	37.54	70.05
総資産(百万円)		21,602	21,967	21,786	23,404
純資産(百万円)		9,253	9,791	9,919	10,477



(注) 第42期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」に基づき表示しています。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)		(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	3,392	3,802	流動負債	6,560	7,276
現金及び預金	484	522	支払手形	17	21
受取手形	231	291	営業未払金	1,484	1,483
営業未収金	2,125	2,261	短期借入金	3,100	2,895
販売用不動産	277	378	1年内返済予定長期借入金	1,324	2,544
貯蔵品	11	9	未払金	22	27
前払費用	129	119	未払費用	123	112
未収法人税等	-	141	未払法人税等	304	-
繰延税金資産	60	27	未払消費税等	32	61
その他の	71	50	預り金	7	5
貸倒引当金	△ 0	△ 0	賞与引当金	81	72
固定資産	18,474	16,778	役員賞与引当金	-	9
有形固定資産	16,585	14,868	その他の	63	43
建物	4,860	4,658	固定負債	5,343	3,651
構築物	229	172	長期借入金	4,867	3,091
機械装置	7	1	退職給付引当金	207	203
車両運搬具	210	344	役員退職慰労引当金	-	113
工具器具備品	51	53	長期預り保証金	169	212
土地	11,203	9,612	その他の	99	30
建設仮勘定	22	26	負債合計	11,904	10,928
無形固定資産	255	286	(純資産の部)		
借地権	103	122	株主資本	9,913	9,596
電話加入権	23	23	資本金	1,284	1,284
施設利用権	1	1	資本剰余金	1,086	1,086
ソフトウェア	127	136	資本準備金	1,070	1,070
ソフトウェア仮勘定	-	1	その他資本剰余金	15	15
投資その他の資産	1,633	1,623	利益剰余金	7,601	7,285
投資有価証券	279	359	利益準備金	90	90
関係会社株式	159	159	その他利益剰余金	7,510	7,194
出資	4	5	別途積立金	6,798	6,798
長期貸付金	157	178	繰越利益剰余金	711	395
長期前払費用	2	2	自己株式	△ 59	△ 59
繰延税金資産	111	172	評価・換算差額等	49	55
敷金保証金	350	316	その他有価証券評価差額金	△ 4	53
保険積立金	368	257	繰延ヘッジ損益	53	2
その他の	199	172	純資産合計	9,962	9,652
貸倒引当金	△ 0	△ 1	負債・純資産合計	21,867	20,580
資産合計	21,867	20,580			

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業収益	15,935	15,599
営業原価	14,455	14,111
営業総利益	1,479	1,487
販売費及び一般管理費	461	454
営業利益	1,017	1,033
営業外収益	43	41
受取利息・配当金	13	10
保険解約返戻金	-	12
その他	30	18
営業外費用	109	86
支払利息	101	74
その他	8	12
経常利益	952	988
特別利益	15	82
固定資産売却益	15	6
投資有価証券売却益	-	71
貸倒引当金戻入	-	4
特別損失	100	603
固定資産除売却損	57	61
投資有価証券評価損	3	140
会員権処分損	11	-
賃料改定差額	27	-
役員退職功労加算金	-	400
その他	-	1
税引前当期純利益	867	467
法人税、住民税及び事業税	400	206
法人税等調整額	31	52
当期純利益	435	208

株主資本等変動計算書

(単位：百万円) (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

	株 主 資 本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
前期末残高	1,284	1,086	7,285	△ 59	9,596
当期変動額					
剰余金の配当			△ 119		△ 119
当期純利益			435		435
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(総額)					
当期変動額合計	-	-	316	△ 0	316
当期末残高	1,284	1,086	7,601	△ 59	9,913
		評価・換算差額等			純資産
		その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	合計
前期末残高	53	2	55		9,652
当期変動額					
剰余金の配当					△ 119
当期純利益					435
自己株式の取得					△ 0
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(総額)	△ 57	51	△ 6	△ 6	
当期変動額合計	△ 57	51	△ 6		309
当期末残高	△ 4	53	49		9,962

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (平成20年3月31日現在)

設立 昭和40年8月
 資本金 1,284,300,000円
 本社 静岡県袋井市木原627番地の3
 従業員 590名

主要な事業所

本社事業部 静岡県袋井市木原22番地1
 西日本事業部 浜松市西区伊左地町8520番地
 関東事業部 埼玉県春日部市内牧4053番地5
 横浜営業所 横浜市鶴見区大黒町1丁目11番地
 東京営業所 東京都港区浜松町2丁目12番11号

役員 (平成20年3月31日現在)

代表取締役会長	神谷修義
代表取締役社長	澤田邦彦
取締役	井上正明
取締役	寺田佳史
取締役	豊田慶造
取締役	落合岐良
常勤監査役	木下昭二
監査役	上原貞夫
監査役	久保田義一
監査役	益田俊昭

(注) 監査役の上原貞夫、久保田義一、益田俊昭の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

連結子会社

株式会社藤友物流サービス (本社 浜松市東区)
 遠州トラック関西株式会社 (本社 大阪市鶴見区)
 株式会社中国遠州コーポレーション (本社 静岡県袋井市)
 上海遠州物流有限公司 (本社 中国・上海市)

株式データ (平成20年3月31日現在)

■株式の状況

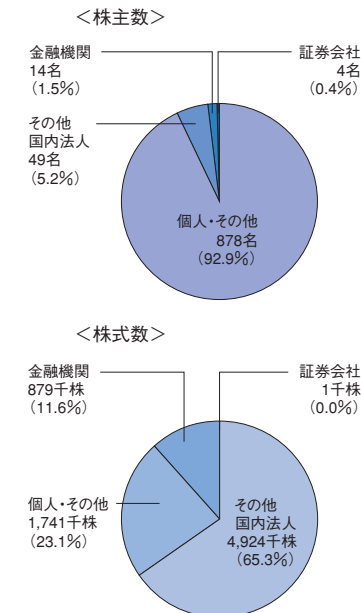
発行可能株式総数 17,600,000株
 発行済株式の総数 7,546,000株
 株主数 945名

■大株主

株主名	持株数	出資比率
株式会社住友倉庫	4,527千株	60.7%
澤田邦彦	199	2.7
遠州トラック従業員持株会	185	2.5
商工組合中央金庫	169	2.3
株式会社静岡銀行	124	1.7
株式会社三井住友銀行	121	1.6
有限会社スリーナイン	111	1.5
三井住友海上火災保険株式会社	103	1.4
日本生命保険相互会社	100	1.3
東京海上日動火災保険株式会社	100	1.3

(注) 出資比率は自己株式(84,595株)を控除して計算しております。

■所有者別の分布状況



トピックス

■親会社・株式会社住友倉庫とのタイアップにより掛川倉庫が完成

平成19年12月、東名高速道路掛川インターチェンジ近くの静岡県掛川市平野地区に、足かけ1年の工事期間を経て、当社最大規模(地下1階地上2階建て、延床面積19,960㎡)となる「掛川倉庫」が完成し、掛川営業所としても稼働を開始しました。

同倉庫は、それまで地元の袋井市や磐田、掛川市といった近隣地域の複数の施設に分散保管していた同一得意先の寄託貨物を1ヶ所に集約することで物流業務全般の合理化、効率化を図り、当社の主力地盤である静岡県西部地域での営業基盤をより強固なものにしようとして計画されたものです。

同倉庫は、当社の親会社である株式会社住友倉庫が建設し、当社がこれを賃借、運営する形態をとっており、両社で推進しているパートナー事業の一環として実現したものです。また、同倉庫は「環境との共存」をコンセプトとし、施設周辺の自然との調和や緑化推進、電動フォークリフトの全面導入といった環境との共生対策をふんだんに採り入れた新しいタイプの物流施設となっています。

(平成20年1月14日付 物流ウィークリー)



■カインズ藤枝センター(=藤枝営業所)が稼働

富士山静岡空港の開港や第二東名の開通に向け、ここ数年、急ピッチでインフラ整備が進む静岡県中東遠地区は、今後、県内有数の物流拠点となることが有望視されていることから、当社も中長期的な視点で重点事業エリアのひとつとして位置付けています。

こうした中、平成19年9月末、当該エリア内の静岡県藤枝市において、当社の藤枝営業所を併設した「カインズ藤枝センター」が完成し、10月より稼働を開始しました。

同施設は鉄骨造平屋建て、延床面積11,560㎡の大型物流施設で、このうち10,000㎡のフロアをホームセンターチェーン大手の株式会社カインズ様にご利用いただき、同社の静岡県内(一部山梨県含む)の各店舗向けに商品の供給を行う「カインズ藤枝センター」として運営しています。残りのスペースについては、当社の藤枝営業所として独自の営業展開を行い、同じ地域にある既存の2ヶ所の物流拠点(静岡県榛原郡吉田町)と連携しながら、同エリア内での取扱貨物の拡大を図ってまいります。

